



セミナー2024



別紙1

データサイエンスと政策形成力の向上

～市町村向け産業連関表の作成・活用～

市町村が新たな政策を提案していくためには、自ら科学的な分析力を高めていく必要があります。このため、まずは足元の産業構造をしっかりと把握することが、地域の成長発展に向けた実践的な政策議論には欠かせません。

本セミナーは、産業連関表に興味のある市町村等を対象に、国土交通省北海道開発局と北海道文教大学地域創造研究センターが連携して、市町村向け産業連関表の作成方法及び地域経済構造分析やイベント等の経済波及効果分析など、EBPMに基づいた地域政策への活用・検討を目的として開催します。

日時

2024年2月27日(火)
14:00～16:30(開場13:45)

会場

札幌第1合同庁舎 10階3・4号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)
※駐車場はございませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

申込方法

- 申込フォームでのお申し込み
URL: <https://forms.office.com/r/ch7GuRYyKx>
- Eメールでのお申し込み



メール本文に氏名、団体名、所属・役職を記入の上、以下アドレスへ送信してください。
アドレス: hkd-ky-iotable@gxb.mlit.go.jp
※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの運営管理の目的のみに使用させていただきます。

対象者

北海道内の市町村、観光協会、商工会議所等で
産業連関表の作成・活用に興味のある方

入場無料
定員50名(先着順)
申込締切: 2月16日(金)
※定員になり次第締め切らせていただきます。

◆ 基調報告

「市町村向け産業連関表について」(国土交通省北海道開発局)

◆ 基調講演

「地域産業連関表の活用事例」

小磯 修二 (北海道文教大学地域創造研究センター長)

主な略歴: 京大法学部卒業。北海道開発庁(現国土交通省北海道開発局)に入庁。2008年 釧路公立大学学長、
2012年 北海道大学公共政策大学院特任教授(現客員教授)、2020年(公社)北海道観光振興機構会長等。
2023年4月から現職。地域政策研究の分野において、数多くの実践的な研究プロジェクトを実施。



◆ オープンディスカッション

モデレーター: 小磯 修二 / 産業連関表作成関係者

- 主催: 国土交通省北海道開発局、北海道文教大学地域創造研究センター
- 協力: 公益財団法人北海道市町村振興協会、恵庭市